東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

PRESS RELEASE

令和 8 年 9 月吉日
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
東京都渋谷公園通りギャラリー

子どものプログラム Kids meet 06
Kids meet × Studio oowa「こうえん」～あの子のスペースをつくる～

東京都渋谷公園通りギャラリーは、10 月 10 日（土）より、**子どものプログラム Kids meet 06 Kids meet × Studio oowa 「こうえん」～あの子のスペースをつくる～**を開催します。

Kids meet 06「こうえん」は「知的障害がある子どもたちにもっと美術やアートにふれてほしい、どうしたら美術館などに足を運んでもらいやすくなるのか？」という問いから始まりました。芝生のような少しとげとげしているさわりごこちが好きな子がいれば、きらきらしたひかるものが好きな子もいます。一人ひとり特性のちがう「あの子」たちに向けて、特別支援学校の先生方と教材を制作してきた Studio oowa と協働し、アーティストやクリエイターの発想を交えてつくりあげたスペースが、東京都渋谷公園通りギャラリーの交流スペースに登場。会期中は「公園」のように自由に立ち寄ってのんびりしたり、ゲストを招いてのトーク（講演）に参加したり、演劇やコンサート（公演）を楽しんだり、さまざまな「こうえん」を体験できます。

開催概要

プログラム名｜**Kids meet 06　Kids meet × Studio oowa 「こうえん」～あの子のスペースをつくる～**
会　　場｜東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース
会　　期｜2026 年 10 月 10 日（土）— 11 月 8 日（日）※アール・ブリュット 2026 巡回展と同時開幕
入 場 料｜無　料
主　　催｜東京都渋谷公園通りギャラリー（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）
公式サイト｜https://inclusion-art.jp/s/kids06-koen

Studio oowa（すたじお おーわ）

写真家の加藤 甫が主宰する横浜にある障害のある子どもたちを中心とした「ば」。スタジオ名の”oowa”とは、1 人の発話が苦手なダウン症の男の子が使うオリジナルの言葉「おーわ」に由来する。社会がまだことばと認識できていない行動やアクションを探し、尊重・共有することでオリジナルのコミュニケーションを模索する「ば」づくりを目指して活動中。

―このリリースにかかるお問い合わせ／取材お申し込み―

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）
Tel：03-5422-3151　Fax：03-3464-5241　E-mail：pr-skdg@mot-art.jp

東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

Kids meet 06「こうえん」関連イベント

主催・会場｜東京都渋谷公園通りギャラリー

イベントは全て参加費無料、詳細はウェブサイトをご参照ください。

特別支援教材をつくる会　写真：加藤 甫

① 特別支援教材をつくる会 プレゼンツ「教材展」（手話通訳付き）

Studio oowa では、北野ちゆき先生を中心に特別支援学校の先生方が集い、「あの子」にむけて特別支援教材をつくったり、情報交換をしたりしています。そんな「特別支援教材をつくる会」の教材からインスピレーションを受けてうまれたこのスペース「こうえん」で、一風変わった「教材展」を開催します。

開催日時｜**2026 年 10 月 11 日（日） 13:00〜15:00**
話 し 手｜北野ちゆき（神奈川県立武山支援学校）、加藤 甫（Studio oowa）

えんげきのがっこう　写真：川島彩水

② え〜んげきのがっこう@しぶや（手話通訳付き）

かもめマシーン主宰の萩原雄太さんが Studio oowa で毎月 1 回実施している「えんげきのがっこう」が渋谷に登場！渋谷区で活動するダウン症、自閉症者を中心としたアートクラス ATELIER A から派生したダンサー集団 STUDIO A をゲストに招き、ドタバタのアドリブ劇をくりひろげるかもしれません。日常の風景が全てえんげきにみえてくるかも！？

開催日時｜**2026 年 11 月 1 日（日） 10:00〜13:00 頃**
出　　演｜萩原雄太（かもめマシーン）、Studio oowa の子どもたち
ゲ ス ト｜猪野なごみ（STUDIO A）、半山ゆきの（STUDIO A）、
　　STUDIO A のみなさん

写真：加藤 甫

③ おとなの感情あそび（手話通訳付き）

戯曲作家・演出家の藤原佳奈さんと特別支援学校の先生方が共に取り組む、障害のある子どもたちの「不満を伝える練習」とそれを「受ける側」の身体と言葉の関係性に着目したプログラム。今回は特別篇、感情を受け止める側のあり方についてオープンラボ形式で考えます。

開催日時｜**2026 年 11 月 3 日（火・祝） 13:00〜15:00**
定　　員｜15 名程度［要事前申込／抽選制］
話 し 手｜藤原佳奈（戯曲作家・演出家）、
　　北野ちゆき（神奈川県立武山支援学校）、加藤 甫（Studio oowa）

大きなマリンバの木のしたで《oowa のみんなと》
写真：加藤 甫

④大きなマリンバの木のしたで　〜こうえん コンサート〜

大きな木のような大きなマリンバの下にもぐって、音の響きを感じたり、野木青依さんと一緒に音を奏でたり、離れて音色を聴いたりして、当ギャラリーの「こうえん」でゆったりすごしませんか？「マリンバ＝大きな木」を囲んで、人々が集い、ことばに頼らない、音や響きだけで会話をするような、音楽による「ば」をおとどけします。

開催日時｜**2026 年 11 月 7 日（土）・8 日（日）11:00〜16:00**
出　　演｜野木青依（マリンバ奏者）

—Kids meet とは— 子どものプログラム「Kids meet」シリーズは、さまざまなバックグラウンドを持つ子どもたちが、アートの体験を通じて偶然の出会いや想像もできないものごとと巡り合い、対話する機会を創出します。この体験によって、子どもたちの世の中をみる視点や世界が広がり、さまざまな価値観を尊重する豊かな想像力が引き出せる場を目指します。